

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	株式会社 第三者評価
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪内
評価実施期間	2012年10月1日 ~ 2013年2月18日 実地訪問調査日 2013年2月5日 (火)
評価調査者	HF05-1-0098 吉山 浩 (リーダー) HF06-1-0019 山田 奈津 (メンバー) HF10-1-0001 八巻 芳子 (報告書査読) HF10-1-0002 加藤 文雄 (報告書査読)

※ 契約日から
評価結果確定日

2 福祉サービス事業者 概要

事業所名称： 西宮夢保育園 (分園 西北夢保育園)	種 別： 第2種社会福祉事業 児童福祉施設 保育園
代表者氏名： 片岡 幸英 園長 西宮夢保育園 濱口 奈央 主任 西北夢保育園 園田 未来 主任	開 設： 平成19年4月1日 西宮夢保育園 平成20年4月1日 西北夢保育園
経営主体： 社会福祉法人 夢工房	定 員： 45名 西宮夢保育園 (平成25年4月より 60名へ増員) 60名 西北夢保育園 (平成25年4月より園舎を増築、100名へ増員)
所 在 地： 〒 663-8153 西宮市南甲子園1-10-15 西宮夢保育園 〒 663-8034 西宮市長田町4-8 西北夢保育園	
電話番号： 0798(45)9614 西宮夢 0798(65)9614 西北夢	FAX番号： 0798(45)9624 西宮夢 0798(65)9615 西北夢
E-mail nishiyume@yumekoubou.or.jp 西宮夢 nishikita@yumekoubou.or.jp 西北夢	ホームページ・アドレス http://www.yumekoubou.or.jp/hoiku/

3. 理念・方針

理念

子どもの最善の利益を考慮し利用者主体を根幹に、行政、地域、保育園の緊密な連携を強化し、地域子育て支援の核となる。

方針

子どもは豊かに伸びていく可能性をそのうちに秘めている。
その子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。
見るもの、聞くものに好奇心を誘発され、人に認められ、誉められ、喜ばれることにより、自分自身が生きている意味を、子どもなりに感じたり、愛情を沢山注がれた「人間」の、生きる力の大きさを、大切にできる保育と、人から守られるだけでなく、自立していく過程で困難なことや、悲しいことに立ち向かう勇気と気力を育てていくために、成長過程で生じる課題を解決しようとする自立意欲を助長し、それを実践できる機会を大切に考えられる保育を目指す。

4 特に力を入れて取り組んでいる点

西宮夢保育園

- ・子育て支援事業では、毎週水曜日の園庭解放 や 木曜日のすくすく子育て体験教室、育児講座、育児相談等を行っている。
また、一時預り事業においても年間300人を目標に受け入れを行っている。
- ・絵本を保育の中に多く取り入れるよう、年間計画を作成し実施している。
- ・給食では食育やクッキングに力を入れている。

西宮夢・西北夢保育園で人気の絵本			
だるまさん シリーズ	からすのパンやさん	めっきらもっきらど おんどん	てぶくろ
			
0歳から楽しめる触れ 合い絵本で、親子のス キンシップにぴったり です	可愛いパンがいっぱ い！見ているだけでも 楽しい絵本です	絵本の中に出てくる不 思議な歌が子どもたち は大好きです	手袋の中に動物た ちがとんとん入っ ていく、絵本の世界 を楽しめる作品で す

西北夢保育園

- ・手作り玩具を用意し、温かいぬくもりを感じることが出来るようにしている。
- ・部屋の環境については花や緑を置き、温かさを感じられるようにしている。
また、子どもの達の導線を考え、棚などを配置している。

5. 園児の状況に関する事項 (平成25年1月1日現在)

西宮夢年齢構成

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
9名	12名	12名	12名
4歳児	5歳児		合計
12名	11名		68名

西北夢年齢構成

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
9名	12名	12名	13名
4歳児	5歳児		合計
13名	13名		72名

6. 職員の状況に関する事項 (平成25年1月1日現在)

西宮夢保育園 職員配置の状況

—	総数	園長	主任	副主任
常勤	16名	1名	1名	1名
—	保育士	栄養士	調理師	
常勤	11名	1名	1名	

西北夢保育園 職員配置の状況

—	総数	園長	主任	副主任
常勤	15名	1名 (西宮と兼務)	1名	1名
非常勤	1名			
—	保育士	栄養士	調理師	
常勤	10名	1名	1名	
非常勤	1名			

7. ボランティアの受け入れ 【 子どもと関わり、保育や遊びに参加 】

西宮夢保育園

・平成24年度 0人 ・平成23年度 4人 ・平成22年度 5人

西北夢保育園

・平成24年度 3人 ・平成23年度 2人 ・平成22年度 10人

8. 実習生の受け入れ

西宮夢保育園

・平成24年度 13人 ・平成23年度 27人 ・平成22年度 19人

西北夢保育園

・平成24年度 15人 ・平成23年度 16人 ・平成22年度 14人

9. サービス利用者からの意見等の聴取について

行事毎には終了後アンケートを実施し、保護者の意見を伺う事で次年度の参考にして改善に努めるようにしています。また、年に2回クラス懇談会と個人懇談会を実施しており、保育園や家庭での日頃の様子を話し合ったり保護者から意見を頂いたりする機会となっています。

直接、保育園へ伝えにくいような意見は意見箱に入れて頂けるよう配慮し、保護者が意見を伝えやすいような環境作りを心がけています。

10. 評価結果

総 評

☆☆☆ 特に評価の高い点 ☆☆☆

- ① 西宮市の保育所政策の最大の課題 待機児童 0 に向け最も貢献しているプロフェッショナルな保育園です。

西宮市の待機児童人数の直近3カ年推移 (平成24～22年度)					
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳以上児	計
24年度	0人	60人	13人	8人	81人
23年度	34人	104人	107人	34	279人
22年度	9人	144人	97人	60人	310人

資料 : 西宮市役所ホームページより 健康福祉局 こども部 保育所整備課
<http://www.nishi.or.jp/media/2012/2012.7.taikijidoukaisyoukeikakunituite.pdf>

重点的に取り組む必要がある地域とされている瓦木地区(阪急西宮北口駅周辺)にて、設立5年目の西北夢保育園が、市の要望に応え増築を行い、平成25年4月より、40人の定員増をする事は賞賛に値すると考えます。

- ② 園長・主任を筆頭に職員総がかりで、この第三者評価のねらいであるPDCA改善を実践しています。「改善計画書」は高いレベルに到達しています。また、今回の受審で西宮市で初めての2回目の評価受審となりました。(前回は2010年3月)
- ③ 南甲子園の子育ての拠点で、地域との関わりも密接です。
子育て世代、自治会、地域との交流の機会を増やし、一時預かり保育(年間300人超え)、防災の合同訓練、甲子園公園の清掃等で地域にとけこみ、みなさんに見守られ、園児たちは安心して日々を過ごしています。
- ④ 温かいぬくもりを大事にしている保育園です。
手作り玩具、花、緑、調度品、庭、彩り、かわいい園舎、職員の笑顔 等々
“ ぼくのおうち ” が、Key Concept (感じてもらいたいこと) になっています。

第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、2回目の第三者評価を受審するにあたり、自分達の保育の見直しや保護者アンケート等を通じてたくさんの改善点が見つかりました。

課題を見つけ、小さな事から改善する事の大切さについて助言頂き、職員全員が問題意識を持ったり、共通の認識で取り組み始める大変良い機会となりました。

今後も更なる努力を重ねて、保育の質の向上や地域の子育て支援事業の中心となれるよう取り組んで行きたいと思います。

手作りの美味しい給食です



絵本に力を入れています



戸外でのびのび遊びます



体操教室に参加します



○ 各評価項目に係る第三者評価結果 (別紙1)

○ 各評価項目に係る評価結果グラフ (別紙2)

評価細目の第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針を確立している。		
I-1-(1)-①	理念を明文化している。	a
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針を明文化している。	a
I-1-(2) 理念や基本方針を周知している。		
I-1-(2)-①	理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	a

特記事項

理念、方針の明文化、職員への周知状況を、書面による確認及び2/5訪問時、西宮・西北夢保育園で数名の保育士・栄養士に口頭で主旨を説明してもらった方法で確認しました。職員への周知方法は、①会議での唱和、②カリキュラムへの記載、③毎月の月案への手書き記載 等を実施されています。

保護者には、しおり、パンフレット、玄関への掲示等、複数の方法でお知らせしています。

ホームページ <http://www.yumekoubou.or.jp/company/company.html> にも記載があります。

I-2 計画の策定

		第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。		
I-2-(1)-①	中・長期計画を策定している。	a
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	a
I-2-(2) 計画を適切に策定している。		
I-2-(2)-①	計画の策定を組織的に行っている。	a
I-2-(2)-②	計画を職員や利用者に周知している。	a

特記事項

理念に沿った中・長期計画を策定し、その内容は職員会議等で日々職員が計画内容を意識するように働きかけています。法人全体で目標数値のデジタル化に努め、分かりやすい内容になっています。平成24年度は、子どもへの教育体制の充実、甲子園公園の広場の清掃、地震避難対策等を実施されました。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任を明確にしている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップを発揮している。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a

特記事項

玄関入口に全職員の顔写真、役職、氏名が掲示されており、職務分掌規定に責任分担を記載しています。児童憲章、保育所保育指針、児童福祉法、社会福祉法、消防法等がリストに記載されており、法令もファイルされています。人事評価の結果から、管理者の役割を常に見直しています。提案制度も整っており、職員が自由にいつでも業務上の疑問や希望を管理者に提案できるようにしています。「職員の改善提案一覧」も確認、それに対し迅速に対応し、職員のモチベーション向上、サービスの質向上に役立てています。

西宮市で実施される園長会、法人で実施される毎月の園長会、主任会に積極的に参加し、管理者としての資質向上に努めています。

西北夢保育園	
みんなで協力しあって、 手作りクッキーを作ったよ	みんなと心をひとつにして、 和太鼓に挑戦したよ
きりん	らいおん
	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	a
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査等を実施している。	a

特記事項

<p>市内の保育園園長会議、法人理事会・園長会の資料により、保育園を取り巻く環境の把握、経営分析の実施状況を確認しました。また、外部監査報告書（24年3月30日付け Y公認会計士事務所）及び その際の指摘事項に対する改善報告書（24年5月15日）を法人本部の若手職員による説明、書類にて確認しました。</p>
--

Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制を整備している。	
Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-② 人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	a
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮している。	
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	a
Ⅱ-2-(2)-② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。	
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	a
Ⅱ-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	a
Ⅱ-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れを適切に行っている。	
Ⅱ-2-(4)-① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
Ⅱ-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a

特記事項

『人事制度運用マニュアル』、『考課要領（共通要素評価表、専門要素評価表）』、「面談記録等」を確認、本人にフィードバックされる仕組みが機能していました。

職員の経験年数や職責に応じた研修計画を立て、職員の教育を効果的に実施しています。職員の自己啓発を促す目的で、職員の自主的な学習グループの活動に対して予算的な支援をしている。

本園一分園間で統一した保育サービスが提供できるよう、統一した教育体制をとっています。

未来の保育士である実習生受け入れの方針が、『とにかく保育が楽しいと思ってもらえるように！！』となっており、主任が責任者となり「保育実習承諾書」、『実習生受け入れマニュアル』等に基づき、ありのままの保育士の姿を見せるよう指導されています。職員の新規・中途採用も積極的にM就職セミナーへの参加しています。

☆ 実習生の受け入れ人数 直近3カ年推移

西宮夢保育園

・平成24年度 13人 ・平成23年度 27人 ・平成22年度 19人

西北夢保育園

・平成24年度 15人 ・平成23年度 16人 ・平成22年度 14人

西北夢保育園	
水をかけあったりして、 プールでたくさん遊んだよ	美味しい給食、たくさん食べたよ
ばんだ	りす
	

II-3 安全管理

	第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。	
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	a
II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

特記事項

ヒヤリ・ハットの事例を収集し、分析・改善提案・改善提案実施後の再評価に取り組み、園児の安全確保に取り組んでいます。事故防止のために、業務ごとのチェックリストを作成し、安全点検の見落としをなくす取り組みをしています。

消防署、警察署、地域の保育所でグループを作り、日ごろから危機管理に関する情報の交換、連携をとっています。

II-4 地域との交流と連携

	第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係を適切に確保している。	
II-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携を確保している。	
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-② 関係機関等との連携を適切に行っている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	a

特記事項

【 西宮夢保育園 】

南甲子園の子育て支援の核となっており、設立6年目で、地域に無くてはならない大きな存在に育っています。三年前の第三者評価受審時は、まだ開園3年目とあって地域とのかかわりの事例は少なかったのですが、その後3年をかけて積極的に地域の子育て世代、自治会、地域との交流の機会を増やしました。一時預かり保育（年間300人超え）、防災の合同訓練、年2回の甲子園公園の清掃、クリスマス会等々。

口腔衛生についての育児講座等を準備し自宅で育児をしている保護者の子育ての心配に応えたりほかの保護者や園との関係性を作りやすくしたり（例 ふれあい運動会）、家庭での子育てのストレスを軽減する活動も実施しています。老人会や民生委員、お隣のコミュニティセンターとの交流も盛んです。開所以来、子育て支援のお便り“夢ニュース”を毎月200部発行しています。これらの活動を通じて地域にとけこみ、今では近隣のみなさんが散歩中の園児や園庭で遊ぶ園児に声をかけてくれるようになりました。地域のみなさんに見守られながら、園児たちは安心して日々を過ごしています。

【 西北夢保育園 】

開園5年目で、瓦木地区（阪急西宮北口駅周辺）で、最も人気のある保育園に育ち、平成25年4月、100名定員への大規模化ですが、ほぼ定員の枠が埋まるようです。地域との関わりも熱心に取り組んでおり、①近隣の2保育園との定期的な交流会、②近隣の老人施設との敬老会やハロウィンの際の交流③老人施設の敷地を借りて水防の避難訓練を実施したりして近隣との関わりに努力しています。

☆ ボランティアの受け入れ 【 子どもと関わり、保育や遊びに参加 】

西宮夢保育園

・平成24年度 0人 ・平成23年度 4人 ・平成22年度 5人

西北夢保育園

・平成24年度 3人 ・平成23年度 2人 ・平成22年度 10人

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。	
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用者の意向の把握と満足の向上への活用に取り組んでいる。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

特記事項

園での行事ごとにアンケートを実施し、その内容や改善点を迅速に園だより等で報告しています。年間に2~3回実施されている統括園長による巡回指導時の指摘に対し、是正がなされている事も確認しました。

園児の写真撮影やおたより等への掲載について入園時に保護者全員に承諾書で可否を確認、個人情報の保護に努めています。書面等の記録も、必要に応じて園児の氏名をアルファベット表示し暗号化する等、配慮しています。『プライバシー保護マニュアル（羞恥心に配慮）』、『苦情解決マニュアル』、相談員・複数の第三者委員等の役割・分担等も確認しました。

保護者アンケート（時期 2012年12月）を実施し、

西宮夢保育園 50家族に配布して50件回収、回収率 100%

西北夢保育園 57家族に配布して57件回収、回収率 100% を達成しました。

保護者からの贈り物“改善の芽”に対し、2013年1月より改善を開始しています。

保護者アンケート項目 ⑰ 散歩等で戸外にでる機会が多いですか？

西宮 はい 58% どちらともいえない 22% いいえ 18% 未記入 2%

西北 はい 67% どちらともいえない 19% いいえ 12% 未記入 2%

改善実施事例： 都会に新しく設立される全ての保育園が持つ課題にチャレンジ

- ・ 1月より 『10分間マラソン』を始めました
- ・ 2月より 保護者に客観的に説明できるように外遊び時間の計測を開始しました

☆ 西宮夢保育園 保護者アンケートによる総合評価

大変満足 24% 満足 38% どちらかといえば満足 26% どちらともいえない 4%
 どちらかといえば不満 4% 不満 4% 大変不満 0

★ 西北夢保育園 保護者アンケートによる総合評価

大変満足 36% 満足 41% どちらかといえば満足 13% どちらともいえない 4%
 どちらかといえば不満 2% 不満 4% 大変不満 2%

Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。	
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。	
Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供している。	a
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録を適切に行っている。	
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。	a
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制を確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

特記事項

職員の意見を取り入れながら独自にサービス評価項目を作成して、サービスの質の向上に努めています。また、評価にあたっては、できるだけ数値目標をとり入れ、定期的に具体的な評価に取り組んでいます。保育サービスの標準化、サービスの内容の見直し、記録方法の改善も実施しています。園長は、3年前に大阪府主催の福祉サービス第三者評価5日間研修に参加済、主任は、現場のローテーションをやり繰りし、2013年夏の研修に参加予定となっています。また、西宮市初の2度目の第三者評価の受審で、保育のプロフェッショナルゆえ、日々の仕事を客観視する事が必要と考えており、その教育・訓練を受けています。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a

特記事項

「パンフレット」、「保育園のしおり」、「夢ニュース（毎月200部発行）」を配付、ホームページにて必要と思われる情報は提供しています。入園のしおりに諸経費等を記載し、入園式や面接時に園長・主任が説明し、同意書に合意の旨を記してもらっています。また、見学、体験を実施しています。記載された「園内見学者カード」を確認しました。

転園先から要望があれば、独自に作成した「転園児の引継ぎ書類」を送付出来ます。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントを行っている。	
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(1)-② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。	
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

特記事項

「児童票」、「年間指導計画」、「月案」、「保育経過記録」にて個々の子どもの発達状況を把握し、1年を4期に分けて達成状況を管理しています。計画の見直しも、「省察欄」等を活用し、適宜実施しています。子どもの目標への到達時期は、1期（赤）、2期（緑）、3期（黄）、4期（青）と色で区分し、次に生かす仕組みが機能しています。

評価対象Ⅳ 実施する福祉サービスの内容

Ⅳ-1 子どもの発達援助

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 発達援助の基本	
Ⅳ-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	a
Ⅳ-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
Ⅳ-1-(2) 健康管理・食事	
Ⅳ-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
Ⅳ-1-(2)-② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
Ⅳ-1-(2)-③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	a
Ⅳ-1-(2)-④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
Ⅳ-1-(3) 保育環境	
Ⅳ-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4) 保育内容	
Ⅳ-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようとしている。	a
Ⅳ-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
Ⅳ-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4)-⑤ さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑨ 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑪ チャレンジド（障がい児）保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

訪問調査当日、3歳児 ぱんだのへや、1歳児 りすのへや にて、日案に沿って、造形（描画・製作）、音楽（リズム・身振り・歌・楽器演奏など）、言語（話す・書く・読む）等、子どもの様子、関わり状況を確認しました。

感染症の予防・発症に関しては園内の掲示板やほけんだより等、複数の方法で周知し、「西宮市保健衛生ハンドブック」、「疾病対応マニュアル」を基に、子どもの「既往症」、「健康管理状態」、「アレルギーチェック表」を記載しています。

評価当日2/5（火）の給食は、さけのしおやき、はくさいのしおっぺサラダ、さつまいものみそしる、特に『はくさいのしおっぺサラダ』が絶品で、弊社の2名の評価者はそれぞれ、子どもに混じって、お代わりをしました。給食は、バイキング形式だったのですが、保育園のシステムに不慣れな私が、立ち往生していると、可愛い5歳の娘が、（つかつかと）私に近づいてくれて、手を引いて案内してくれました。「何十年ぶりでしょうか？女性にエスコートされるのは。嬉しいやら照れくさいやら、少し赤面してしまいました。」 6人程度の丸いテーブルで、未来の“将棋の棋士”、“警察官”、“お花屋さん”、“保育士”と同席しました。未来の“将棋の棋士”は、「保育園で一番賢く、駆けっこは、2番です」と自己紹介としてくれ、「父親との将棋では、飛車角落ち戦で互角との話でした。」将来、西宮夢保育園卒園の王将、名人、棋聖が誕生するかも？ 20年後が楽しみとなりました。

西宮夢保育園は、阪神甲子園球場の近くにあり、5歳児は、夏の高校野球の外野スタンドへ応援に駆けつけています。そのためか、子どもは、阪神タイガースのファンが多かったです。

西北夢保育園は、主任・副主任を筆頭に笑顔の良い楽しい保育士が多く、話しやすい雰囲気を作り、子どもの自主性・意欲を育てています。園全体が落ち着いた雰囲気で保育を実践しています。年長さんから乳児さんまで、お互いに相乗効果でお互いを大事に、やさしい関係性を作れています。5歳児の子供たちは小さな子供たちに頼りにされることで自信をもち、小さな子供たちは年上の子供たちに優しくされることで落ち着き、お互いによい関係を維持しています。これには毎日のプログラムのなかで5歳児の子供たちが全員0, 1, 2歳児のお部屋で朝夕計2時間ほど、本を読んであげたり一緒に遊んだり、ほんとうの兄弟姉妹のように過ごす時間を組んでいることが効果をもたらしているようです。

子供たちは成長段階で絵本からいろんな刺激をうけますが、その効果を大事にし、絵本の読み聞かせの年間プログラムを作成して子供たちの成長に積極的に絵本を活用しています。

また、子供たちに本物の質感を感じてもらうために、保育室内に植物を増やしつつあります。またあえてガラスの置物を置いています。もちろんガラスですから破損の危険はありますが、ガラスの美しさや危険

性を知ることによって子供たちの感性を育てることを支援しています。

AED（自動体外式除細動器）を設置し、全保育士がその講習を受講しています。

両園共、現在、チャレンジド（障がい児）は、在籍していませんが、受け入れ体制は、備わっています。

西宮夢保育園	
バイキング形式の給食です	クッキング活動に取り組めます
	

西北夢保育園	
公園でたくさん遊んだよ	鬼に変身して、豆まきをしたよ
こりす	うさぎ
	

IV-2 子育て支援

	第三者評価結
IV-2-(1) 入所児童の保護者等への育児支援	
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	a
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
IV-2-(1)-⑥ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a

特記事項

<p>保護者と共通理解を得るため保育参観、参加、運動会、発表会を行っています。</p> <p>虐待に関するマニュアルを整備し、子どもの様子に疑問等がある場合は即座に職員間で情報交換する体制を整備している。</p> <p>西宮夢保育園では、近隣でニーズの高い『一時保育』に目標を持って取り組んでおり、年間300人としている目標を達成する見込みで、近隣の子育て世代より喜ばれています。</p>
--

IV-3 安全・事故防止

	第三者評価結果
IV-3-(1) 安全・事故防止	
IV-3-(1)-① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	a
IV-3-(1)-② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a
IV-3-(1)-③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a
IV-3-(1)-④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a
IV-3-(1)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a

特記事項

リスクマネジメントの取り組みは、おもに職員会議の場で行っています。園長・主任・副主任で構成される「三役会議」がリーダー役となって、事故、ヒヤリハットの事例を園全体で分析し、改善する取り組みを実施しています。

アレルギーのある園児の食事対応も日々改良を重ねています。「誰かが考えてくれる」と思っていると絶対に事故は減りませんが、西宮夢保育園では事故を事故として終わらせずに「なぜ事故がおこったのか」「どうすれば事故が起こらなくなるか」を保育士全員で考え実践にうつしています。具体的な取り組みでは、アレルギーを持つ園児のアレルゲンについて担当の保育士だけでなくほかの保育士も記憶・把握しているので、複数の目で食事チェックが実施できる体制になっています。

『衛生管理マニュアル』、『保育安全マニュアル』、『防災・避難訓練マニュアル』を作成し、毎日点検を実施しています。「ヒヤリ・ハット」用紙は、各室にて記載し、職員会議で情報交換を行っています。

乳幼児突然死症候群を未然に防ぐため、SIDSチェックを0歳児では10分ごとに1回行っています。また、室内温度・湿度・換気チェックを1日3回行っています。

保護者より要望のある東南海トラフ等の大規模災害に対する備えも着々と進んでおり、新たに『防災マニュアル』を作成していました。また、津波対策として近隣の避難ビルの確保、緊急一斉メール、「防災非常食一覧（水、キャラメル等）」「非常用持ち出し袋」「FMラジオ&ライト」の確認、及びその資料と現物の照合を行いました。

また、幹線道路に面し交通量の多い西北夢保育園では、市の安全安心対策グループによる交通安全教育（うさちゃんクラブ、24年6月7日）も実施しており、集団の中で交通規則（どこを歩けば良いのか、横断歩道はどうやって渡るのか、この標識はどんな内容か）を実践的に学んでいます。